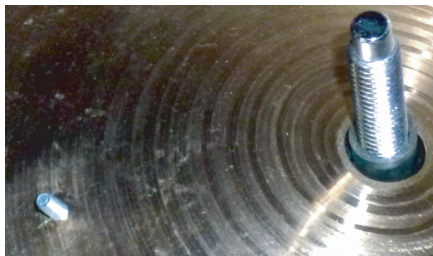
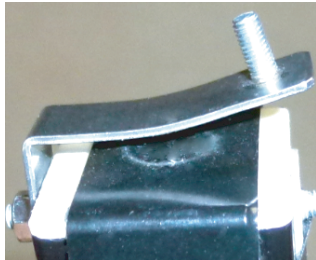
CubeMic・C-X 取扱説明書

2012.5/4 バージョン

【1】シンバル用設置法

C-X をシンバルに取り付ける方法は、先ず上写真の様に
シンバルのカップ外輪から内側に約 1 cm 入った辺りに
M 3 の穴を空け、その空けた穴に CubeMic の穴開け式
シンバル専用共振磁性体の先端にある M3 のネジ棒を下
側から挿し入れます。
そして挿し入れた M3 のネジ棒に、シンバルの上から、
バネワッシャ、六角ナット、バネワッシャ、袋ナット
の順番で締め込んでシンバルと C-X を固定させます。

そしてネジ止めした後で
左写真の様に、C-X 本体を持ち
ながら外側に慎重に圧力をかけ、
シンバルの形状に合わせて、外側に多少共
振磁性体を曲げると、シンバルを叩いて揺
れた時に、シンバルスタンドに C-X 本体
がぶつかりにくくできます。

左写真は、C-X をシンバルに取り
付け終わった状態です。
写真のシンバルスタンドは、ハイ
リーズドラムセットに採用させて
頂いているパール製の BC-100S
というブームスタンドですが、
C-X を単品で購入した場合、いろ
んなメーカーのスタンドに取り付
ける事になります。
その際、C-X 本体や、XLR(キャ
ノン) 端子に取り付けたケーブル
の金具部が、シンバルスタンドに
ぶつかってしまうと、C-X はぶつ
かった音も収音してしまいます。
演奏に対して、C-X がぶつからない工夫をして下さい。
BC-100S の場合は、ブーム部を逆転させたり、ブームとして
横に出したりする事に由り、かなりシンバルを揺らせても、
C-X 本体がシンバルスタンドにぶつからないで済むセッティ
ングを実現出来ます。
シンバルスタンドは、各社全く形状も機能も異なる為、いろ
いろ試して、ベストなセッティングをあみ出して下さい。
なお、セッティングの際に C-X に無理な力を加えて変形させ
たり、ねじったりする事に由り、C-X 本体が破損した場合の
返品交換はお受け出来ませんので、ご了承の程お願い申し上
げます。

【2】配線と運搬に関して

C-X 本体端子に XLR メスプラグを挿し入れたケーブルのもう片方を、Highleads 用
MOTU オーディオインターフェイスに挿し込む場合は、クラッシュシンバルの場合は、
必ずアナログイン 7 に入れて下さい。そしてライドシンバルの場合は、必ずアナログ
イン 8 に入れて下さい。
ハイリーズで調整済みの EQ が設定されている為、クラッシュシンバル、ライドシンバ
ルにとって、最も好適な音が、Highleads 用 MOTU オーディオインターフェイスのメ
インアウトからセットの一部としてステレオ出力されると同時に、Highleads 用
MOTU オーディオインターフェイスのアナログアウト 7 から、クラッシュシンバル、
そしてアナログアウト 8 から、ライドシンバルだけの EQ 処理音をモノアウト出来ます。

又、C-X を単品購入された方は、C-X 本体端子に XLR メスプラグを挿し入れたケーブ
ルのもう片方を、アンプ、エフェクタ、ミキサー、オーディオインターフェイス等に
繋いで下さい。
C-X は、パッシブの構造であるという事を認識して、いろいろな音調整部との結線を
試みて下さい。主に、エレキギター、エレキベースを繋げる場所ならば、繋いで正解です。
ハイリーズの CubeMic は、エレキギター、エレキベースに使用出来るエフェクターは、
全て使用可能です。キーボード用のエフェクターも使用可能な場合が多いので、是非
お試し下さい。
　運搬時は、シンバルからネジ止めを外して C-X 専用のプラスティックケースに収納
して、保護した形で運搬して下さい。CubeMic は繊細な作りの為、保護しないで運搬
する事による破損に関して、一切ユーザー様の自己責任とさせて頂きます。
共振磁性体は取り付け取り外しが容易な為、消耗品扱いとし、破損した場合は部品と
して新たに購入して下さい。
XLR 端子は、1 番がシールド。2 番がホット。3 番がコールドとなっております。
XLR 端子は、いろんな形式がありますので、必ず入力先になる機器の取り扱い説明書
を読んで、間違いのない結線をして下さい。
コンデンサーではないので、絶対に 48V は Off で使用して下さい。

【3】音の処理に関して

音の処理は、個人の好みが別れる部分ですが、特徴としては、ピックアッ
プで収音された音は、中音部が張っており、高音部が小さくなってます。
シンバルの場合、中低音部をかなり大胆に削っても良いでしょう。
設計的にドラム用ピックアップより大きい音量で収音出来るので、中低音
を大胆に削って丁度良い位になります。更に高音の張りが欲しい場合、
5kHz〜9kHz や、12〜17kHz 辺りを上げる等してみて下さい。当然、取
り付けるシンバルの音にも由りますし、シンバルの音は好みが別れると思
いますので、自分でいろいろと弄ってみて下さい。

【4】注意事項

1．曲げた共振磁性体は消耗品扱いになります。もし破損したり、曲げて
　収音に問題が出た場合、共振磁性体だけの単品販売はさせて頂きます。
2．C-X は、丈夫で無い為、運搬時には、必ずシンバルから取り外し、
　C-X 専用のプラスティックケースに収納して保護して下さい。
　目的地でネジ止めし直す際には、力任せに締め込む事をせず、シンバ
　ルの振動が共振し、振動によりナットが外れない程度のあんばいで
　締めて下さい。
3．電源アダプター、電源ユニット、蛍光灯等が近くにあると、ピックアッ
　プがノイズを拾います。ノイズの原因となるものからは離しましょう。
　エレキギターの技術とかを模倣して、良い音作りに励んで下さい。

製造元	：	株式会社ハイリーズ
所在	：	東京都八王子市裏高尾町 190 番地 5
電話	：	050-3391-9719
ホームページ	：	http://highleads.jp/
お問い合わせ先	：	master@highleads.jp